

物語を読み、具体的な叙術を基に理由を明確にして、自分の考えをまとめることができるかどうかをみる。

【物語の一部】（省略）

「話し合いの様子の一瞥」

あまんきみこさんの「きつねの掌裏」を読んで、心に残ったところはどこか

「③を示しながら」―あたりの水がいつせいにどざつとゆれてよびました」というところまで感じがあると思っただけだ。

そうだね。 **A** ことといえば、松ぞうじいさんとびきはきつねだったのね。二人を写したはずの写真にきつねが写っていたんだから。きつねきつねだよ。

「④を示しながら」「山野さんは、むかいあつたりをばちりどうしました」とあるでしょ

そうだね。それに、(圖)を示しながら、「ききつねの写真だ」と書いてあるしね。二人を写したはずの写真にききつねが写っている。てことは、やっぱりききつねなのかな。

(2)を示しながら)「にて、松ぞうじいさんが「ついてきなせえ」と言っているところがあるで

私もそう思う。松ぞうじいさんは、きつねだからきつねのすんでいた穴の場所を知っています。

家内でさんだよね。田中さんの言いたいことはそういうことでいいのかな。
そう思う。

「人間にうちとけられたり」と書いてあるけれど、「人間に」とか「うちとけられた」とは言わないで、

そこから、松ぞうじいさんがきつねだと考えられるね。他にも見つけたよ。

5 (話し合いが続く) 5

合いの様子（一節）の中の **B** のところで、田中さんは、『物語の一節』の言葉や文

んならどのようなわけを話しますか。次の条件に合わせて書きましょう。

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99

「の林さんのように『世田谷の一画』から言葉や文を拾い上げて書くこと」
取り上げた言葉や文をもとに、どうして松ぞうじいさんやとび西がきつねだと考えるのかを

六十字以上。百字以内にまとめて書くこと。

本書の著者岡田は下書き用紙で、宛手も宛先なくとも手紙が書ける。顧客は、顧客名簿に書きまわすように。

●

[illegible][illegible][illegible][illegible]

正答例

正答例 「松ぞうじいさんの目に、なみだがきらりとひかりました」というところは、人間にうちとられてしまった仲間のきつねを思う気持ちが表れていると思うから、松ぞうじいさんはきつねだと考えたよ。(90字)

誤答例

誤答例 **＜解答類型5＞** 山野さんがきつねの写真をとりたいと言ったあとに、「**そこまできくと、松ぞうじいさんに目に、なみだがきらりとひかりました**」と書いてあるから、松ぞうじいさんはきつねだと思えることができるよ。(92字) **21.0%**

誤答分析

松ぞうじいさんやとび吉がきつねであることが分かる叙述を
取り上げることはできている
 が、その叙述を基にして、松ぞ
 うじいさんやとび吉がきつねで
 あると考えたわけについて書く
 ことができていない。

学習指導に当たって

- 一つの場面の叙述だけを対象とするにとどまらず、**複数の場面の叙述を相互に関係付けながら読む**ことができるようにする。
- 叙述を取り上げながら、「**叙述を基にしてどう考えたのか**」を**交流**することで、他の叙述と関係付けられていることに気づくようにする。